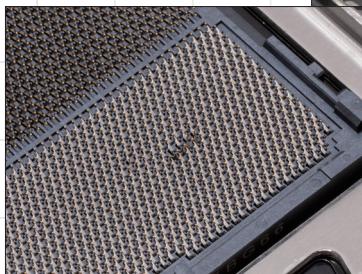
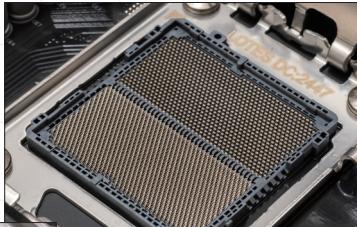


03. CPUの取り付け

CAUTION CPUの取り付けには細心の注意を払おう!

超重要!
ピンの折れ、
曲げに注意

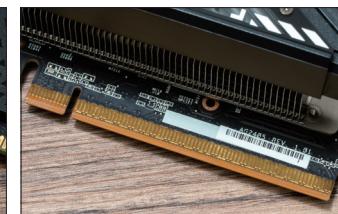
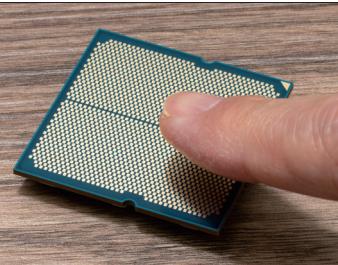


▲Socket AM5は、ソケットに1718本のピンが、ピッシャリと並んでいる。いくら興味を引かれてても、指で触るのは論外。

◀ピンがこうなったら終わり。一部のメーカーは、購入後の一定期間のみ無償で修理可能だが、それ以外は保証対象外だ。

**金色の
端子部を直に
触るのはNG**

➡▼ピンと接触するCPU裏面の端子部を含め、メモリ、SSD、ビデオカードの端子部にも注意したい。端子部に手や指の脂、汚れが付かないようにしよう。



03-1 ▶ロックレバーを外す



◀CPUソケット横のレバーを横にずらして、上に持ち上げる。なお、CPUソケットが標準で備えている保護カバーは、そのままに作業を行って大丈夫だ。

03-2 ▶ふたを開く



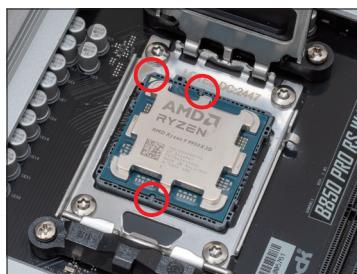
レバーを引き起こしたら、保護カバーと一緒にふたを開けよう。ソケットピンに注意。

03-3 ▶ソケットにそっと載せる



▶CPUは指先でつまみ持ち。ソケットとCPUの左上にある▲印の位置を確認しながら、そっと置こう。同工程には、静電防止手袋は使わず、“素手”で行おう。

03-4 ▶取り付け位置を再確認



CPUの位置や、浮いていないかを確認。問題がなければ、ふたを戻し、レバーを倒そう。

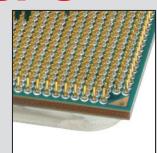
03-5 ▶保護カバーを取れば完了



◀レバーは少し外に広げながら押し下げて、ロック位置に戻す。反発で指が滑らないように注意しよう。保護カバーは自然に外れる。必ず保管しておこう。



**Socket AM4 CPUも
基本は同じ**



CPU裏に
ピンがある

➡ Socket AM4形状のRyzen CPUも、取り付けの流れは同じ。CPUとソケットにある印の位置を合わせて置き、レバーを倒せば大丈夫だ。